

シナリオ入力用価格表

日時	2026年6月16日 06:03 JST
対象	日中セッション向け
現値	69750

共通メモ

エントリー価格・トリガー・ロスカットは引け時点のチャート形状（各足の転換価格・押し安値・戻り高値）を基準に設定している。時間の経過で構造が変化した場合、上位足の構造変化がない限り、下位足（15m等）の波動転換価格（例：短期足が一旦下落波動に入った後に上昇波動へ転換する価格）を基準にエントリー価格を調整し、当初設定値と比較してより実態に合う方を採用する。

UP① ブレイク追従（ロング）

有効化	ON
ブレイク価格	69910
判断足	15m終値回復
先行エントリー価格	69910
先行判断足	ブレイク価格近辺への戻り、または上抜け後に傾斜の付いた20MA近辺を短い足でタイミングを計る（バックエントリー）
本エントリー価格	70000
判断足	1H終値回復
先行分ロスカット	69640
本玉分ロスカット	69160
ターゲット1	70200
ターゲット2	70500

MFE保護：+200円で建値または微益撤退、+300円で最低+100円確保またはトレーリング。青天井・過熱圏のため早めに保護。

RR：先行69910・LC69640（リスク270円）基準、T1（70200）+290円=RR1.1、T2（70500）+590円=RR2.2

補足：69910（ナイト高値・レンジ上限）を15m終値で上抜け後（青天井の新値追い）、ブレイク価格近辺への戻り、または上抜け後に傾斜の付いた20MA近辺（ブレイク後の押し目買いとして注視）を短い足でタイミングを計って先行（バックエントリー）。20MAタッチはあくまで目安で必ずしもブレイク価格に戻らず走る場合もある。RRはブレイク価格基準。70000を1H終値で回復で本玉化。T1は一部利確+建値移動の目安、本来のリワードはT2。一晩で大幅上昇後の高値圏レンジ・過熱のため早めに保護。

UP② 押し目買い（ロング）

有効化	ON
押し目候補価格1	69160
押し目候補価格2	68800~68200
UP②トリガー価格	69300
判断足	押し目ゾーン反発を15m終値で確認
UP②本エントリー価格	69720
判断足	1H終値回復
先行分ロスカット	69000
本玉分ロスカット	68800
完全撤退	68200
ターゲット1	69840
ターゲット2	70000、70500

MFE保護：+200円で建値または微益撤退、+300円で最低+100円確保またはトレーリング。高値圏レンジ・過熱圏のため保護を早める。

RR：先行69300・LC69000（リスク300円）基準、T1+540円=RR1.8、T2（70000）+700円=RR2.3

補足：標準条件は69160（1H転換・15m押し安値・ナイト安値=レンジ下限）、または68800~68200（旧4H天井=サポート転換・旧1H転換）で反発形状を形成し、反発を15m終値で確認して先行エントリー（先行目安69300浅押し、深押し時68300・LC68080）。69720（15m転換）を1H終値で回復で本玉化。T1は一部利確+建値移動の目安、本来のリワードはT2。4Hが上昇のため順張りの押し目買い。エントリーは上昇20MAの上で行う。1H・15mが高値圏レンジのため浅い押しを優先し、69160を明確に終値割れした場合はレンジ下放れとして見送る。

DOWN① 戻り売り（ショート）

有効化	ON
戻り候補価格1	69840~69910
戻り候補価格2	---
DOWN①先行エントリー価格	69800
判断足	レンジ上限失速を15m終値で確認
DOWN①本エントリー価格	69160
判断足	1H終値割れ
先行分口スカット	69950
本玉分口スカット	69910
強い無効化	69910（ナイト高値回復）
ターゲット1	69160
ターゲット2	68800、68200

MFE保護：+200円で建値または微益撤退、+300円で最低+100円確保またはトレーリング。4H上昇中の逆張りのため戻り取り限定・深追いせず早めを守る。

RR：先行69800・LC69950（リスク150円）基準、T1（69160）+640円=RR4.3、T2（68800）+1000円=RR6.7

補足：4Hが上昇のため戻り売りはレンジ内の戻り取り限定。69840~69910（レンジ上限）で上値を抑えられ失速を15m終値で確認して先行エントリー（先行目安69800）。69160を1H終値で割ればレンジ下放れで本玉化。15m・1Hの20EMAが上昇～横ばいの局面で上昇20MA上での早撃ちは避ける。トリガー確定足の時点でターゲット1に到達済みの場合は見送り。

DOWN② ブレイク追従（ショート）

有効化	ON
押し安値（ブレイク価格）	69160
DOWN②先行エントリー価格	69160
判断足	ブレイク価格近辺への戻り、または割れ後に傾斜の付いた20MA近辺を短い足でタイミングを計る（バックエントリー）
DOWN②本エントリー価格	68800
判断足	1H終値割れ
先行分口スカット	69480
本玉分口スカット	69720
完全撤退	69910
ターゲット1	68200
ターゲット2	67530、67210

MFE保護：+200円で建値または微益撤退、+300円で最低+100円確保またはトレーリング。新値圏からの転換はダマシ・急反発に注意。

RR：先行69160・LC69480（リスク320円）基準、T1（68200）+960円=RR3.0、T2（67530）+1630円=RR5.1

補足：69160（1H転換・15m押し安値・ナイト安値＝レンジ下限）を15m終値で割ればレンジ下放れ・上昇波動の崩れ。ただし4Hが強い上昇のため、69160割れまでは下落本格化を見ない深いコンティンジェンシー。割れ後、ブレイク価格近辺への戻り、または割れ後に傾斜の付いた20MA近辺（ブレイク後の戻り売りとして注視）を短い足でタイミングを計って先行（バックエントリー）。20MAタッチはあくまで目安。RRはブレイク価格基準。68800を1H終値で割れば本玉化。新値圏からの反落はダマシ・急反発に注意し明確な終値割れ確認後にトリガーさせる。トリガー確定足の時点でターゲット1に到達済みの場合は見送り。

※本レポートは情報提供を目的としたものであり売買助言を目的とするものではなく投資判断は自己責任でお願いします。